

鶴居村における 長期滞在型観光の推進 ～子ども体験学習の提案～



北海道教育大学釧路校
地域社会と環境研究室
及川怜奈 西岡俊祐 野呂奈津帆
三浦彩香 森井亮哉 山本由佳



発表の構成

1. 本研究の趣旨

2. 鶴居村の概要

○鶴居村について

3. 研究内容→提案→効果

○従来の観光形態について ○鶴居村の体験型ツアーの推進と課題について

○鶴居村の人材的課題 ○子どもの体験学習～自然を資源に～

○子どもの体験学習がもたらす好影響

4. おわりに

○自分たちが実現のためにできること ○参考文献 ○謝辞



1. 本研究の趣旨

鶴居村の地域資源に触れることで、良さに気づくと同時に村の抱える通過型観光(周辺地である阿寒が短期滞在中心観光であるため、釧路→阿寒間は通過してしまう)であるという課題に対して、この地域資源からアプローチできるのではないかと考えた。

→阿寒湖温泉の現状：2006年度宿泊者数82万人のうち

宿泊日数1泊のみの人割合が9割

(財団法人日本交通公社 「温泉観光地の活性化とツーリズム～阿寒湖温泉を例にして～」

https://www.nihon-kankou.or.jp/home/committees/report/event/20100722_11b.pdf)

2. 鶴居村の概要

人口	2 5 1 3 人
面積	5 7 1 . 8 0 km ²
主な産業	酪農、林業
観光資源	タンチョウ 釧路湿原 温泉 など



鶴居村について

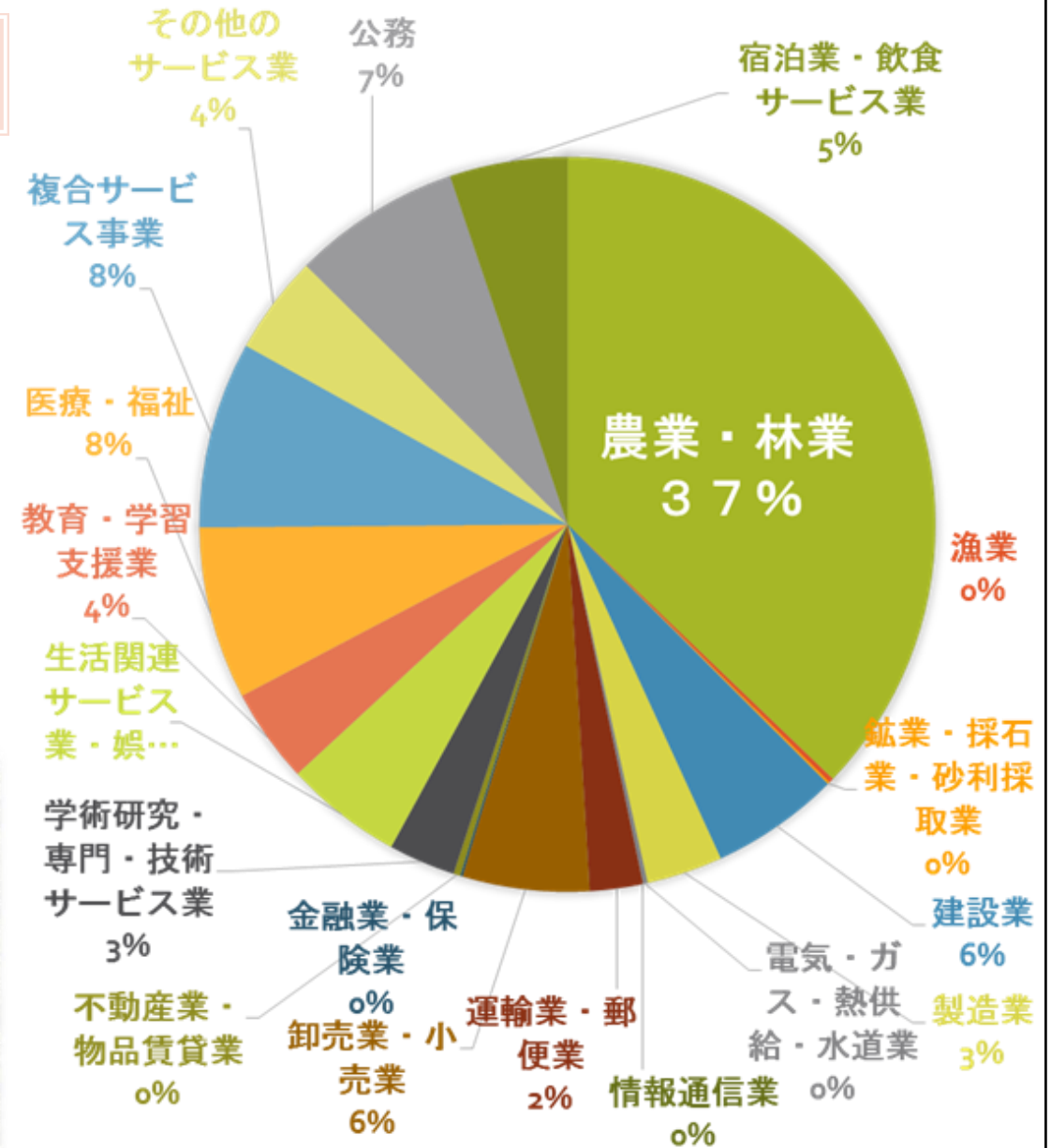
◆職業別就業者の割合

農業・林業が37%

この二つが盛んである。

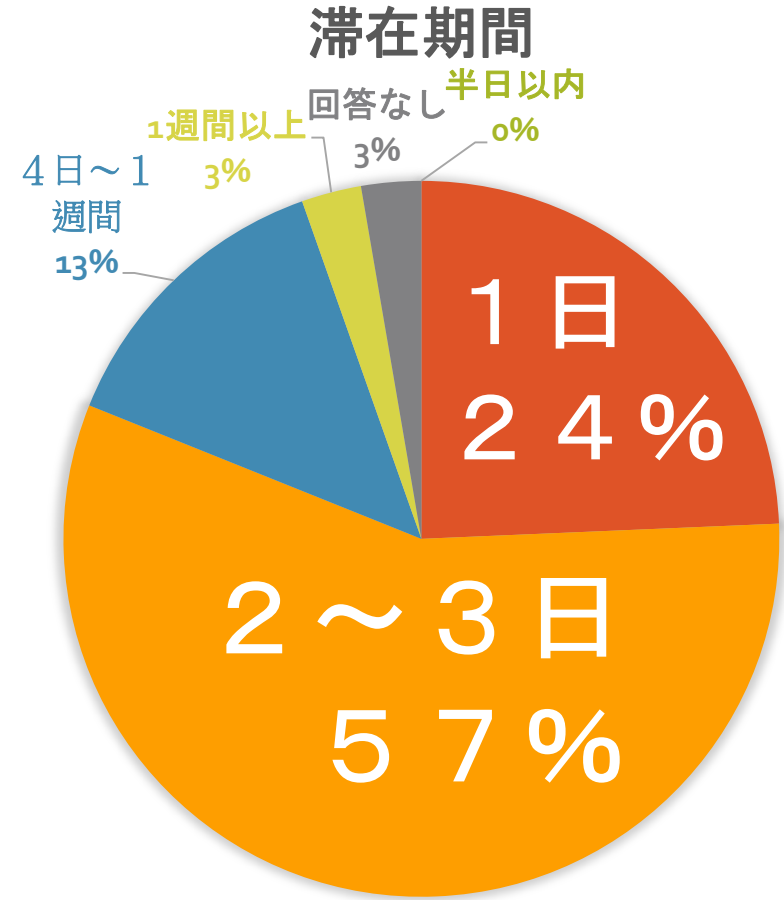
(Gdfreak! 事実に基づく思考のため)

<http://jp.gdfreak.com/public/detail/jp010050000001001667/13>



鶴居村の課題

- 通過(短期滞在)型の観光形態が多くなっている。
→長期滞在型への観光開発の改善が必要だと考えられる。



(実際に観光客に取ったアンケートより)

長期滞在とは

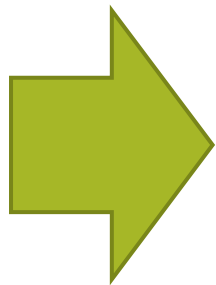
主たる生活の拠点のほかに、日本国内の他の地域にて比較的長く（1週間程度）、あるいは繰り返し滞在し、その滞在地域のルールを遵守しつつ、地域文化とのふれあいや、住民との交流を深めながら滞在するライフスタイル。

（JTB総合研究所 ツーリズムの視点で「ロングステイ」を概観する～滞在型観光により、国内地域活性化を～）

<https://www.google.co.jp/amp/www.tourism-database/column/2013/11/tourism-longstay/amp/?client=safari>

鶴居村での短期滞在のデメリット

- 短期滞在は、地域にお金が落ちづらい
- 鶴居村の観光資源を生かすには、あまりにも時間が短すぎる
- 住民との交流があまりできずに村を出てしまう



鶴居村には長期滞在型観光が望ましい

研究目的・内容

- 目的

鶴居村の観光業を通じて、鶴居村自体の活性化を図る

- 内容

長期滞在型観光の推進のための具体的方策の提案

3. 研究内容

- ・聞き取り調査（観光客、村民の方々）
- ・アンケート調査（中学生、観光客、村民の方々）
- ・鶴居村での各活動への参加(わたし旅プロジェクト)
- ・鶴居村を実際に観光客として旅行
→課題の再確認、魅力や改善点の発見

分析・
考察

活用方策を見出す

【アンケート調査の概要】

中学生64名、観光客37名、
在住者10人に聞き取り調査
を行った。

（アンケートの内容は、それ
ぞれ異なる。）

- ・出身地
- ・居住歴
- ・鶴居村に対する満足度
- ・鶴居村の長所、短所
- ・滞在期間
- ・観光形態
- ・将来鶴居村に住んでいた
いか

従来の観光形態について

【外発的観光開発】

◎従来の観光形態

外部の企業がリゾート施設をそこに作るなど

メリット：短期的な利益

デメリット：地域社会の意向の軽視
：地域資源の破壊



鶴居村には難しい

【内発的観光開発】

◎世界的課題である「持続可能な観光の創出」

→地域社会主導(自律性)

事例)

- ・栃木県那須町・・・地場産品を利用した「なすとらん倶楽部」
- ・群馬県上野村・・・上野村の風景を楽しんでもらう「集落観光」や
結婚式の引き出物に村の木工製品を活用する事業
- ・鳥取県鳥取市鳥取砂丘・・・「砂の美術館」

➡鶴居村の観光協会が目指す観光は、地域の人で作り上げ、盛り上げて、観光を促進していくスタイル

鶴居村の体験型ツアーの推進と課題について

◎現在：

どさんこ牧場	ホーストレッキング
鶴居村観光協会	鶴居村フットパス 長期宿泊客を対象としたモニター事業
釧路総合振興局くしろ地域支援室	鶴居村温泉パスポート



体験型ツアー



内発的観光開発に基づいて、長期滞在型観光の推進を行っている。

内発的観光開発による長期滞在の成功事例

◎長野県北信州 湯田中温泉

特徴：いつでも好きな時に温泉三昧というコンセプトのもと、旅館やホテルをウィークリーマンションの感覚で利用することができる。

→観光施設における人材同士の協力による魅力あるイベントの創出

(長野県公式観光ウェブサイト www.choukitaizai.com/shinsyu/index.htm)

◎岩手県田野畑村 番屋エコツーリズム

特徴：もともと行っていた漁業体験に加えて震災体験をガイドすることで、当時の様子や復興について語り継ぐツアーを行っている。

→地域の人との交流、文化、経験の継承による地域密着型のツアー

(NPO法人 体験村・たのはたネットワーク www.tanohata-taiken.jp)

→以上から成功事例を見ても内発的観光開発からの長期滞在型観光の推進の見込みは立つものと考えられる。

鶴居村の観光の現状

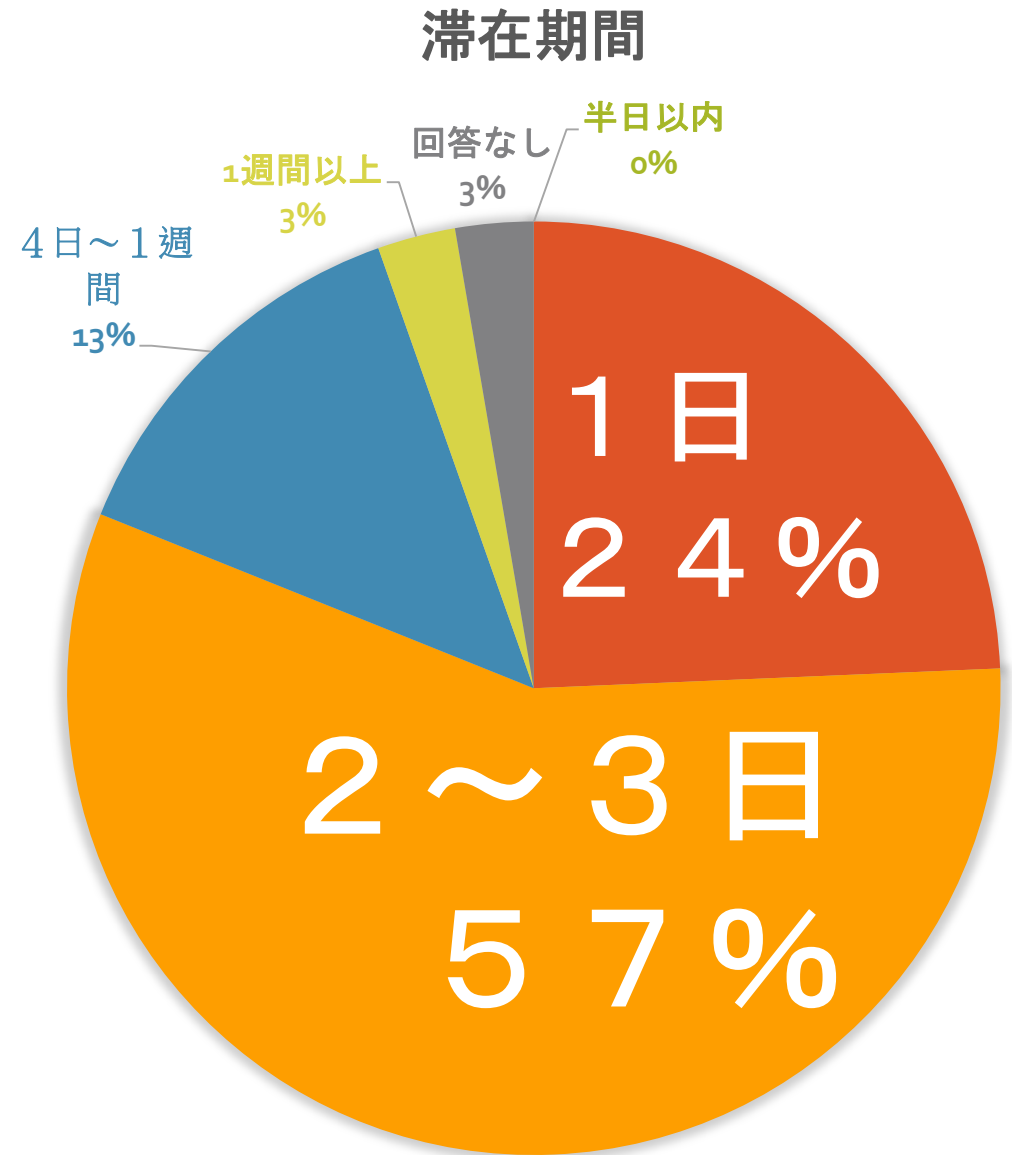
◆滞在期間

(実際に行ったアンケートより)

1～3日の人が8割



長期滞在を目指しているが、短期滞在の傾向になっているため、まだまだ**向上の余地**がある。



向上の余地とは

- イベントに打ち出すための企画者の人材を確保
- 地域住民と観光客の交流をつなぐコーディネーターとして、観光協会や観光業に関わる人の充実



さらに観光業を発展させるために、
若者などの働く世代の就業が必要不可欠。

鶴居村在住の方々の現状

◆将来鶴居村に住みたいか～中学生～ (実際に行ったアンケートより)

住みたくない、わからない人が8割

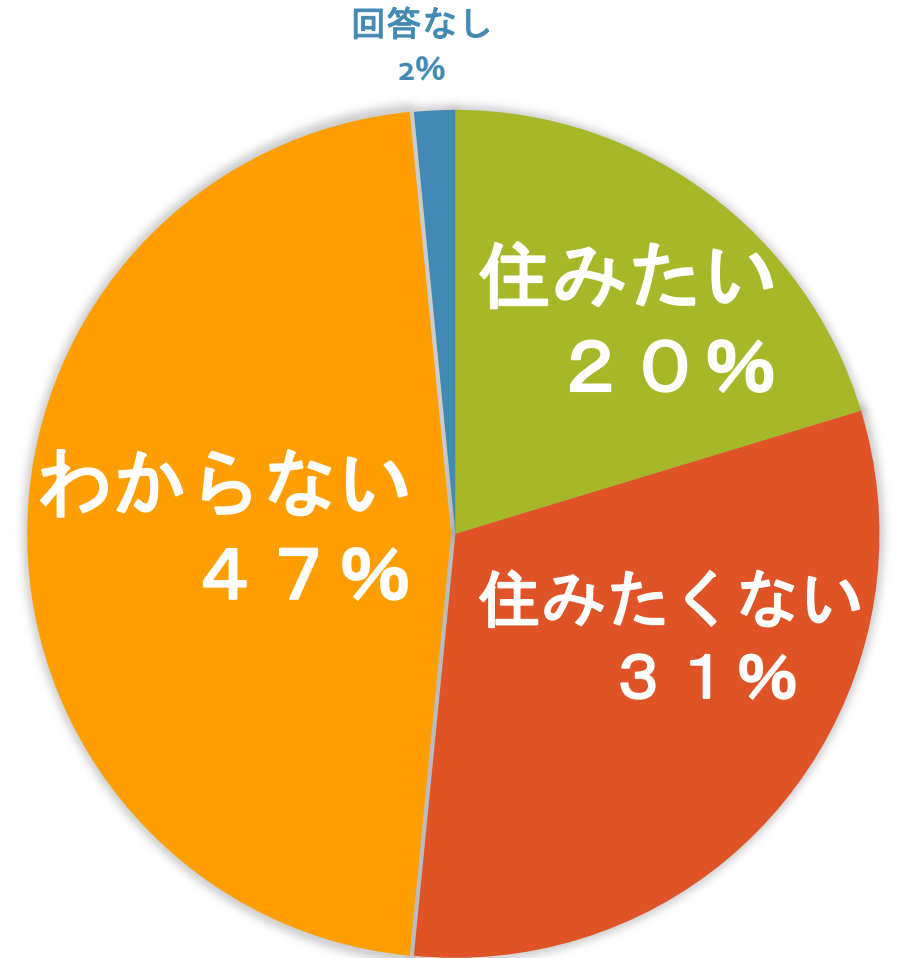
→それはなぜか？

- ・ 仕事が少ない
- ・ 夢がかなわない

といった理由が挙げられる。

→若者の人口減少が予期される。

将来住みたいか



村のアンケートより(在住者)

- 企業の誘致という意見が多かったが、鶴居村では実践が難しい。



- 他にない少子化対策で、「こどもは地域の宝」として育んでくれる姿勢の市町村には移住したくなる。(30代女性)
- 村の人口減少、高齢化はとても心配。現在住まわれている方々の子どもたちが帰村されるように、村内に働ける場があるといい。(50代女性)
- 地元の人ができる場所を増やしてほしいです。(10代男性)
- 外国人でも働ける場所を見つけられるようにしてほしい。(20代女性)
- 酪農の一次産業だけでは、若者には魅力的ではない。(50代男性)

→親世代が子供が将来働ける環境・雇用づくりを求めている。

鶴居のむらづくりアンケート 調査結果報告書 鶴居村

<http://www.vill.tsurui.lg.jp/sonsei/gyosei/files/sonminsankeo1.pdf>

鶴居村人口減少対策に関するアンケート調査 自由意見 鶴居村

<http://www.vill.tsurui.lg.jp/sonsei/gyosei/murazukuri/files/jiyuiken.pdf>

【理想形】

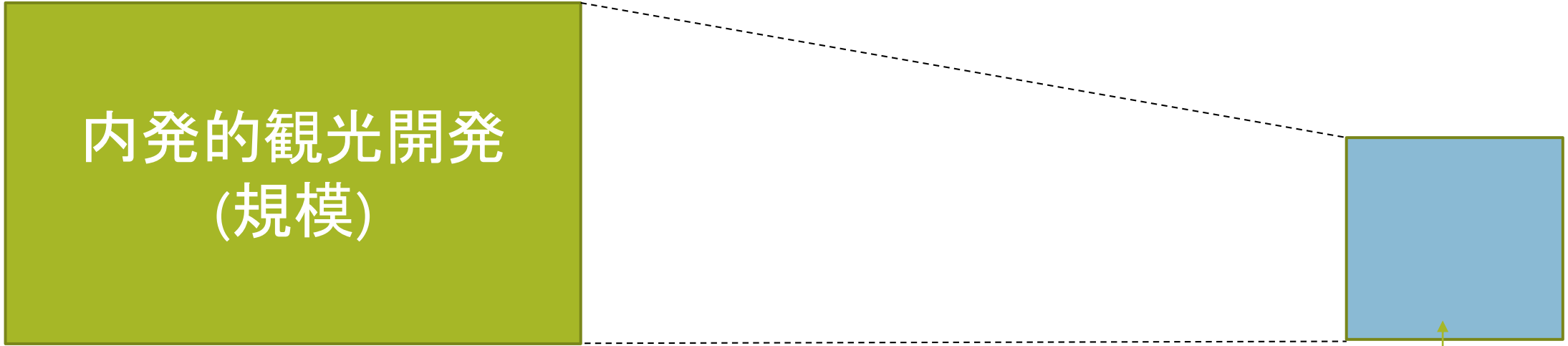
内発的観光開発
(規模)

将来的にみた
内発的観光開発
(規模)

【現実】

内発的観光開発
(規模)

人材的課題を抱えた
内発的観光開発(規模)



鶴居村の人材的課題

◎鶴居村の主な施策

- 観光協会体制の充実強化
- 滞在型観光にむけての体験型インストラクターやガイドの育成

(夢・チャレンジ 鶴居びと～四季の詩が流れる大地～

http://www.vill/tsurui/lg.jp/sonsei/gyousei/murazukuri/files/murazukuri_pdf_02.pdf)

→人材の不足・減少という課題があることがわかる。

【提案】

内発的観光開発

交流
(キャリア教育)

鶴居村を拠点として、自分の職業観、職業的知識や技術を鶴居独自の資源を通して、子どもたちに伝える教育者や専門職の人
→この発表では鶴居キャリア教育者と呼ぶ

媒介

【鶴居キャリア教育者の例】

- ・教育大学で環境教育やキャリア教育を積んでいる釧路校の教育大生
- ・将来まちづくりに従事する公務員や専門的な民間企業を就職先とする人の多い釧路公立大生
- ・調理師免許取得を目指している専門学生

キャリア教育とは

「一人ひとりの社会的、職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」

中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」

（キャリア教育とは何か 文部科学省

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afileld/2011/06/16/1306818_04.pdf)

鶴居キャリア教育者が子どもにもたらす効果

メリット：鶴居村の将来担い手となる子どもたちのキャリア教育を
交流を通して、推進することで職業観の育成を図ることができる。

➡文部科学省によると、産業・経済の構造的変化や雇用の多様化・流動化等に対して、キャリア教育は子どもたちの自らの将来のとらえ方に大きな変化をもたらすものとして考えている。

(文部科学省データ 2011年6月16日)

わたしたちは鶴居独自の自然や食などの地域
資源に目を向けたキャリア教育を提案したい
と思います



鶴居では実践可能なのか？

鶴居村がもつ豊かな資源

	自然	非日常観	流行	癒し	解放感	ブランド (価値)
ヘルス ツーリズム	釧路湿原の グリーン、 丹頂		鶴居村温泉 パスポート	TAITO、グ リーンパー クの温泉	釧路湿原展 望台	
フード ツーリズム	酪農体験		鶴カレー	ハートンツ リー		鶴居チーズ
エコ ツーリズム	釧路湿原の 散策ツアー	どさんこ牧 場での乗馬 体験	フットパス	湿原ウォー ク	村民の森の オートキャ ンプ	美しい村の 風景

鶴居村には豊かな自然や食、自然を生かした施設が多く存在する

→鶴居はこの方策を実現するのに適している

	自然	非日常観	流行	癒し	解放感
ヘルス ツーリズム	釧路湿原の グリーン、 丹頂		鶴居村温泉 パスポート	TAITO、グ リーンパー クの温泉	釧路湿原 望台
フード ツーリズム	酪農体験		鶴カレー	ハートンツ リー	
エコ ツーリズム	釧路湿原の 散策ツアー	どさんこ牧 場での乗馬 体験	フットパス	湿原ウォー ク	村民の森の オートキャ ンプ

森林浴や温泉な
どの心身を癒す
ものが多くあ
る！！

鶴居村の資源を
使った加工品や
料理がいっぱ
い！！

鶴居村の自然を
生かした取り組
みが多くあ
る！！

子どもの体験学習～自然を資源に～

【主催】 大学生

【対象】 小・中学生＋保護者

概要：①小・中学生を対象とした鶴居村のオートキャンプ場を活かした森の散策ツアーや環境学に基づく自然体験型ツアー
②鶴居独自の食材(チーズや牛乳、ヨーグルト)を活かした料理コンテストの開催

➡なぜ大学生??

・理由：社会人に比べ長期休暇などがあり、取り組みやすい。

より近い目線で小・中学生に寄り添いながら取り組むことができる。

大学生にも**被教育的影響**も期待できる。(学び合い)

①自然体験型ツアー（環境教育×キャリア教育）

◎大学生が鶴居の自然資源について調べ、1泊2日ほどのツアーのスケジュールリングを行う。

- キャンプ場でいっしょに自然に触れ合う「ネイチャーゲーム」
- 木の実、葉などを使った創作（オーナメントの職人）
- フットパス（大学生×観光協会）
- 乗馬体験(どさんこ牧場)
- 自炊体験



活動によるキャリア教育的な効果

このような活動によって...

- 環境教育に基づいた考え方を養うことができる。
(自然保護、生命尊重)
- 自然に楽しみを見出す。
→自然の良さを広めるきっかけになる。
- 題材が村の自然資源であるため、子どもたちの郷土愛を育むことができる。

②料理コンテスト (食育×キャリア教育)

◎鶴居村の食材を村が用意し、参加者が創作料理をつくり、コンテストを行う。

【指導：カフェの人 審査員：地域の人】

- チーズ(ナチュラルチーズコンテスト4連続受賞)
 - ミルク、ヨーグルト
 - 村内で育てた野菜、果物(鶴居村ふれあい農園)
 - エゾシカ、ヤマベ、ニジマス
- 受賞作品は、村内のカフェ、レストランでの商品化



活動によるキャリア教育的な効果

このような活動によって...

- 食育に基づいた考え方を養うことができる。
(食文化理解、健康のための食、農山漁村への共生)
- 鶴居の食を見直し、評価してもらうきっかけになる。
- 村の特産品がどのようなものなのかを知ることができる。
- 特産品に関わる仕事について興味関心を持たせることができる。

子どもの体験学習がもたらす好影響

間接(長期)
的な
好影響

直接的な
好影響

【間接(長期)的な好影響】 (子ども)

- 子どもが村内の職業について興味を持つことができる。
- 子どもが普段の生活では知ることの出来ない職業の種類と内容を知ることができる。
- 村の自然資源の良さ・利用方法に興味を持ち、理解することができる。



将来の内発的観光の担い手を育てることができる。

→長期滞在型観光の推進者の育成・増加

【直接的な好影響】（大学生）

- 活動が村外に広まることによる、村外の子どもたちの活動参加の増加
- イベントを企画する大学生自体の事前調査、イベント期間の長期滞在化
- 大学生の被教育的影響→大学生がともに学び合い、教えることにより、自分自身の職業観や自律の心を養うなどの好影響
- ツアーの企画や参加していく中で鶴居村に興味を持ち、村内への就職など期待ができる



ツアーやイベント自体の長期滞在化を進めるプラン
に変えることができる。

→**観光客・研究調査旅行自体の長期滞在化**

4. おわりに

自分たちが実現のためにできること

- 実際にツアーのプラン作りを行う。
- 小学校に協力をお願いし、教材に鶴居の資源を利用してもらう。
→絵の題材を鶴に。まち紹介。まち探検、観光地図づくり。
- 中学校に協力関係を結び、ワークショップなどを開く。
→村の課題、いいところを挙げるができるテーマ
- 大学内で活動を行っている団体、研究室、サークルと協力関係を結び、鶴居村での活動を協同で行う。（長期滞在化）
- ツアープランを村外へアピールすること。



参考文献

- 「エコツーリズムを学ぶ人のために」 真板昭夫/石森秀三/梅津ゆりえ
- 「ジオツーリズムとエコツーリズム」 深見 聡
- 鶴居村人口ビジョン

<http://www.vill.tsurui.lg.jp/kurashi/news/2016-0229-1411-28/html>

「内発的発展効果の計量化に関する研究

<http://www.cpij-kansai.jp/commit/kenhap/2007/18.pdf>

- 鶴居村 まち・ひと・しごと創生総合戦略
<http://www.vill.tsurui.lg.jp/sousei/gyosei/murazukurisogosenryaku2015-1014-1349-9.html>
- 〈共同研究〉 自然環境を活かした広域レベルの地域活性化モデル 会津大学
<http://www.jc.u-aizu.ac.jp/11/141/thesis/msy2005/19.pdf>

参考文献

- ・ 【問20】 自由記載 鶴居村

http://www.vill.tsurui.lg.jp/sonsei/gyosei/murazukuri/files/murazukuri_pdf_04.pdf

- ・ エコツーリズムに関する国内外の取り組みについて 環境省

http://www.env.go.jp/council/22eco/y220-01/mat_03.pdf

- ・ 鶴居のむらづくりアンケート 調査結果報告書 鶴居村

<http://www.vill.tsurui.lg.jp/sonsei/gyosei/files/sonminsankeo1.pdf>

- ・ 鶴居村人口減少対策に関するアンケート調査 自由意見 鶴居村

<http://www.vill.tsurui.lg.jp/sonsei/gyosei/murazukuri/files/jiyuiken.pdf>

- ・ 企業誘致による地域経済活性化

<http://www2.kumagaku.ac.jp/seminar/~st-sakai/zemio2/e661/3.htm>

謝辞

本研究を進めるにあたってお世話になりました

- ・ N P O 法人 美しい村・鶴居村観光協会様
- ・ 鶴居村役場様
- ・ 鶴居中学校の皆様
- ・ ホテル T A I T O 様
- ・ ホテル グリーンパークつるい様
- ・ 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ様
- ・ 鶴居どさんこ牧場様
- ・ 温根内ビジターセンター様
- ・ その他関係者各位

この場をお借りして、お礼を申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。